済生会だより ならしの

千葉県済生会習志野病院 院外広報誌

No.28 2013.秋号

Contents

- 麻酔科の紹介
- 精神科の紹介
- 健診センターからのお知らせ
- 地域医療支援病院の承認 ほか

今号の表紙

9月12日に実施された災害訓練の模様
撮影:広報課

いのちに寄り添い100年。
そして、今日も

病院の理念

患者さんの権利を尊重し、共に考える良質な医療の提供、すなわち患者さん指向の医療をめざし、もって地域住民の健康と福祉の増進に努めます。

病院の基本方針

- 職員が誇りを持ち、患者さんが満足・安心できる効率的な医療の提供に努めます。
- すべての診療情報を患者さんにお伝えします。
- 信頼される医療を行うために研修、研鑽をいたします。
- 地域の医療機関との連携のもとに中核病院としての役割を果たします。

麻酔科の紹介

麻酔科 医長　篠塚 典弘

はじめに

麻酔科は現在常勤医4人で主に手術室での麻酔業務をおこなっております。具体的には外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、歯科口腔外科、脳神経外科、呼吸器外科、眼科などの麻酔を担当しております。手術件数は年々増加傾向にあり、手術室の増築計画も進んでいることから、手術件数の増加にも対応できるものと期待しております。

麻酔を使用する際の流れ

イラスト引用元:(公社)日本麻酔科学会

では皆様が手術を受けることになった際、どのような流れで麻酔がおこなわれるのかを簡単にご紹介したいと思います。

1

手術が決定されましたら、受診されている診療科で麻酔科外来の予約をとります。指定の日時に麻酔科外来を受診していただきます。

2

麻酔科外来の受診時には、血圧測定と問診票への記入をお願いしています。麻酔科外来では、外来担当医が問診票を元にお話をお聞きし、麻酔方法について説明をします。

麻酔科医の術前(麻酔前)診察

3

入院後に麻酔担当医が再度、術前訪問をしますので、疑問点や不安な点などがありましたら、遠慮なくお聞きください。

4

手術の前日夜から当日朝にかけては、安全確保のため食事や飲水の制限が始まります。

5

手術の当日は手術室入口でお名前、手術の場所の確認をします。その後、手術台に横になり血圧計、心電図、酸素を測る機械などを装着します。

手術室の中

6

手術後には、麻酔科医による術後回診をおこなっています。

全身麻酔と局所麻酔の違い

イラスト引用元:(公社)日本麻酔科学会

全身麻酔

マスクから酸素を吸いながら、点滴からのお薬で眠ります。眠った後は呼吸のためのチューブを通して人工呼吸をしている間に手術をおこないます。手術終了後、目覚めたら呼吸のチューブを抜いて痛みがないことを確認して、お部屋へ戻ります。この時、必要に応じて酸素マスクをしていただきます。

全身麻酔の場合

局所麻酔

脊椎麻酔・硬膜外麻酔

横向きになり背中を丸めて注射をおこないます。注射というと痛いというイメージがありますが、皮膚の表面に痛み止めをしてからおこないますので、それほど心配する必要はないと思います。

局所麻酔の場合

脊椎麻酔、硬膜外麻酔、全身麻酔のほかに必要に応じて神経ブロックもおこなう場合があります。

＊緊急で手術が必要になった場合やお子様の場合は麻酔の手順が違うことがあります。

実際の手術室はこんな感じです

精神科の紹介

精神科 医長　登坂 真二

はじめに

精神科では常勤医師２名、臨床心理士１名で業務をおこない、内容は外来診療および他科に入院されている方の精神的な問題を扱うリエゾンコンサルテーションが中心になります。

外来

外来診療では一般精神科の他に、近隣地域在住の方を中心に、千葉県内でも数少ない児童精神領域も扱っています（常勤医師１名が対応）。教育、家庭、社会で子どものこころの問題の重要性が指摘されている一方で、それを扱うところがあまりに少ないのが現状です。発達障害をはじめとして、言葉としては広まってきましたが、実際の治療や支援となると、かなり限られてきます。子どものこころの問題は家庭や社会の問題と複雑に絡み合って出現し、子どもだけの問題として捉えていては十分ではない場合も多くあります。当科では、情報を集め、各種検査をおこない、多角的にアセスメントして、薬物療法や心理療法などおこないながら、慎重に考えていきたいと思っております。外来診療は新患、再診とも予約制としており、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

また、ひまわり発達相談センターや県中央児童相談所嘱託医、千葉県警少年センタースーパーバイザーを務め、病院だけではない地域医療として、早期から子どもの支援に携わり、幅広い活動の提供をおこなっています。子どものこころに何が必要なのか常に考え、一人でも多くの子どもたちが、子どもらしい健やかな生活を送れるよう願い、当科がその一助になれば幸いです。

リエゾンコンサルテーション

リエゾンコンサルテーションでは、夜間不穏、興奮を呈するせん妄や認知症の周辺症状が多くなっています。身体疾患を有するため、身体的負担に伴い、精神的負担も増し、その軽減に努めています。また当院の緩和ケアチームの一員として緩和医療にも携わっています。

以上のように、当科の活動は多岐にわたりますが、今後とも、みなさまの健康を支えていく存在になれるよう頑張っていきたいと思います。

精神科の外来

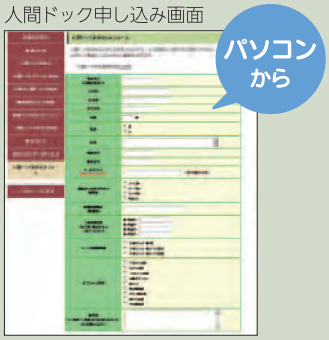
精神科スタッフ

健診センターからのお知らせ

8月より、病院のホームページから インターネットによる人間ドックの申し込みが可能になりました。

「人間ドック予約空き状況」を閲覧のうえ、直接申し込みが可能です。またFAXによる人間ドックの申し込みもできます。
いずれも申し込みいただくと健診センターから確認のお電話をさせていただきます。

人間ドック申し込み画面



人間ドックＦＡＸ申込書

初診患者さんへ 紹介状をご持参ください

- 紹介状（診療情報提供書）をご持参されない場合、診察をお受けできないことや、待ち時間が長くかかることがありますので、ご了承ください。
- 紹介状をご持参いただき、「安心でスムーズな診察」にご協力をお願いいたします。

★紹介状はご自宅のお近くや、これまでに受診したことのある医院・クリニックで診療を受けていただき、作成をお願いしてください。

★現在、継続して定期的に当院を受診されている方で、これまでと同じ診療科を受診される場合、紹介状は必要ありません。

地域医療支援病院の名称使用が承認されました

平成25年8月6日に当院は、地域医療支援病院として承認されました。

地域医療支援病院とは、①紹介患者さんに対する医療の提供 ②地域医療従事者の研修の提供 ③救急患者さんの受け入れ ④病床・医療機器の共同利用を通じて、かかりつけ医等を支援する能力のある病院であることが要件です。県知事の承認を受けた病院です。

今後は、地域の中核病院としての役割を担うべき努力を重ね、地域の医療機関の皆様並びに住民の皆様に信頼される病院としての努力を続け、地域医療支援病院としての責務を果たしてまいる所存でございます。今後も一層のご指導の程を重ねてお願い申し上げます。

糖尿病講座のご案内

当院では、2ヶ月に1回糖尿病講座を開催しています。参加費は無料ですので、是非ご参加ください。なお、参加人数に制限がありますので、事前に予約をお願いいたします。

11月の講座

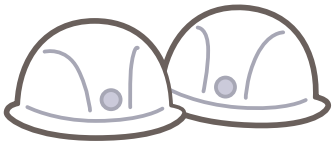
お申し込み・お問い合わせは、内科外来まで

日　時　11月22日（金）　14:00～16:00
場　所　当院８階講堂
テーマ　糖尿病性大血管障害
　　ストレスとの付き合い方
　　日常生活の注意点（フットケア・災害対策・シックデイルール）

災害訓練を実施

平成25年9月12日（木）に職員による災害訓練をおこないました。

災害レベル3（外来診療ストップ、多数の負傷者が来院される想定）での訓練。災害対策本部・指令室の立ち上げ、各部署の各被害状況報告の訓練や職員が模擬の負傷者・患者になり、被災者受け入れのシミュレーション訓練を実施しました。



表紙に災害訓練の写真が掲載されています

お知らせ　「済生会だより　ならしの」が No11（2009年夏号）より病院ホームページからご覧になれます。

発　行／千葉県済生会習志野病院
〒275-8580 千葉県習志野市泉町1-1-1　TEL 047-473-1281（代）　FAX 047-478-6601
ホームページ　http://www.chiba-saiseikai.com